

スピーキング 授業案例

ミントアプリケーションズ株式会社

2016年8月

ここでは本時の狙いを「身振り手振りのあるプレゼン練習」として説明する。教材ビデオには、TEDの「Weird, or just different? (Derek Sivers)」を使う。2分40秒と短く、内容もわかりやすいので、高校初級でも授業が成り立つ。

① 最初に3度全体を通して学習し、② その後でシーンを見ながら身振り手振りのあるプレゼンを真似する練習を行う。③ 最後に、何人かを指名して発表させて締めくくる。

授業環境はCALL教室とする。ただし①は一斉授業スタイルでのプロジェクタ提示とし、②で個別学習に移る。CALLが使えない時、②は一斉訓練となる。

① 1回目は字幕を使わずにビデオを視聴させる。音声に集中して意味の概要理解を促すことが目的。

2回目は英語字幕を追加して視聴する。音声だけでは聞き取れなかったところを文字で補いつつ理解を深めるのが目的。

3回目は日本語字幕も出して、演目に対する理解を終える。

ビデオが短いので、①は10分ほどで終わる。身振り手振りのあるプレゼン訓練をするために題材に慣れることが①の目的なので、語彙や文法にはあまり時間を割かない。

② 訓練に使うシーンを字幕番号で指定する。ここでは1番から6番までの6字幕とする。時間にして16秒なので、個別訓練時間を3分としても、単純計算で同じ箇所を平均10回練習できることになる。

時間があれば訓練で使う6字幕についての発音指導を行うとよい。例えば第1字幕の「So, imagine you're standing on a street anywhere in America」のうち「imagine, street, America」に強勢を置き、「you're や anywhere」などは軽く流すというような指導である。このビデオ全体の発話速度は200wpmとかなり早口なので、口が動かない人用には速度調整を使うように指示することも必要になるかもしれない。120wpmほどまで落とせるので、速度調整を有効に使いたい。

個別学習はまず1字幕ごとに3~4回反復練習し、これを6字幕分順に終えたら、次は6字幕通してオーバーラッピング（模範音声にかぶせて同時に発声する）する。これを3~4回行う。最後に、どうしても口淀んでしまうところを集中的に訓練すると良い。

- ③ 発表は、プロジェクタで写したスクリーンの映像を見せながらひとりずつ行う。一人 20 秒としても 5 分で 15 人こなすことができる。うまく出来てもしくじっても個別にいちいち評価せず、全員の拍手で終わることが次に繋がることになる。5~6 人終わるごとに先生が発音のポイントや手振り身振りの指導を手短にするのも気が効いてよいかもしれない。

手振り身振りが音声の意味と重なって同期している発表者は、「まる暗記」や「棒読み」でなく「意味のある発声」が体得されていることの証となるだろう。

この授業事例は、英語学会（LET 全国大会 2016 年 8 月）のシンポジウムで山口先生（早稲田大学）が報告した授業実践をもとに高校用にアレンジした。

目次

1	準備： 利用するビデオを取り込む	… 3
2	① 第 1 ステップ： ビデオの紹介と意味理解	… 4
3	② 第 2 ステップ： 個別発声練習	… 6
4	③ 第 3 ステップ： 発表会	… 7

参考資料

TED-Talk 「Weird, or just different? (Derek Sivers)」で使われている高校レベルあるいはそれ以上の語彙リスト。

accurate	district	obvious
assumption	imagine	opposite
brilliant	musical	phrase
confuse	neighborhood	whatever
disappoint	oak	

1. 準備： 利用するビデオを取り込む

- 1 talkies を開き 「< library」 ボタン



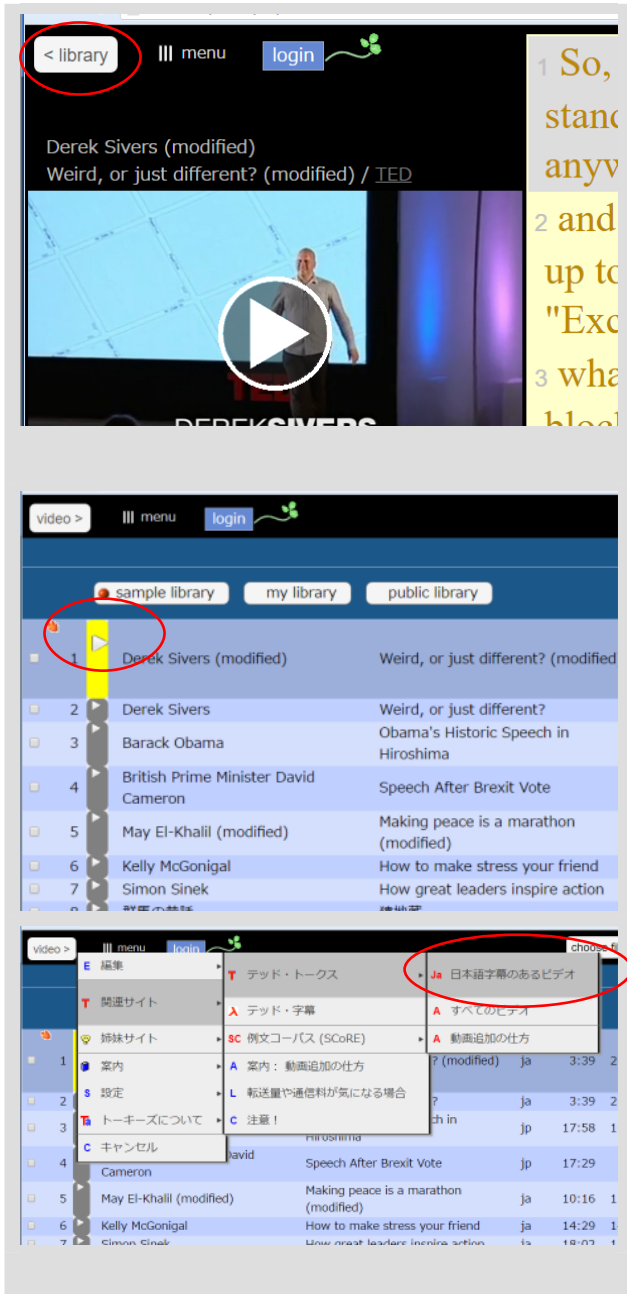
をクリックする。

* 2016年8月現在の talkies 夏秋モデルでは、talkies を開いた時のオープニング・ビデオが「Weird, or just different? (Derek Sivers)」になっている。

- 2 開いたサンプルの中から「Weird, or just different? (Derek Sivers)」を探して再生

ボタン  をクリックする。

もし、見つからなければ TED を開いて「Weird, or just different? (Derek Sivers)」で検索して取り込む。



2. ① 第1ステップ：ビデオの紹介と意味理解

- 1 最初は日英の字幕をともに隠す.

英語字幕を隠すには下段の video ボタン

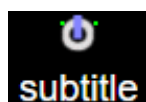


の左半分をクリックしてダイヤ

ルを左に倒す

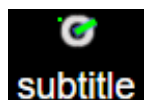


日本語字幕を隠すには subtitle ボタン

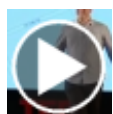


の右半分をクリックしてダイ

ヤルを右に倒す



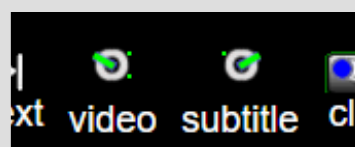
- 2 再生を開始するには、ビッグアイコン





か、再生ボタン



をクリックするか、キーボードでVかピリオドを押す.



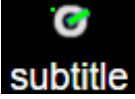
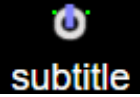
- 3 2回目は英語字幕を見せる.

英語字幕を再表示するには  ボタンを1回クリックしてダイヤルを真ん中  にもどす.

- 4 最初から再生を開始するには、下段のト

ップボタン  をクリックする.

- 5 3回目には日本語も見せる.

日本語字幕を再表示するには  ボタンを1回クリックしてダイヤルを真ん中  にもどす.

- 6

トップボタン  をクリックして始めから再生を開始する.



3. ② 第 2 ステップ： 個別発声練習

発声練習は学習者の習得レベルに合わせた個別訓練が好ましい。

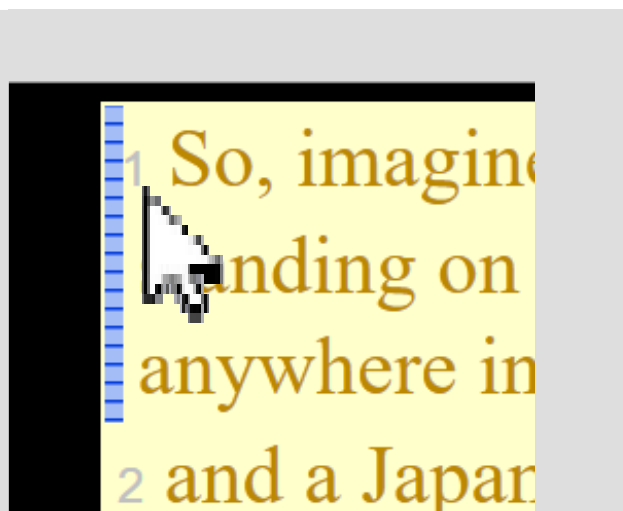
CALL などの環境が整っていない時には指導者が生徒の各レベルに合わせるような工夫をしながら一斉訓練をおこなうことになる。

クラスを 2～3 に分けるという方法も考えられる。

- 1 まず、訓練に使うシーンを指示する。
ここでは 1 番から 6 番とした。

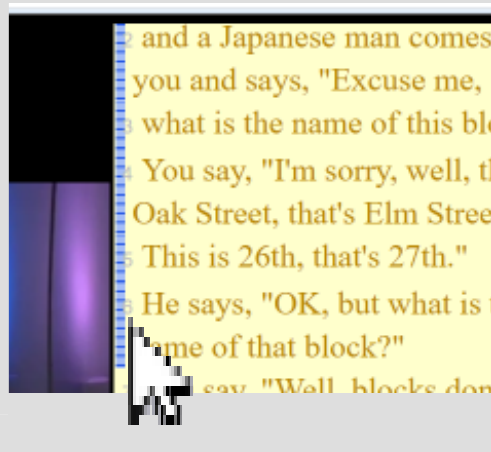
字幕番号 1 をマウスで左クリックする。

1 番字幕の左端に青い縞模様の縦棒が出現する。




- 2 つぎに、6 番字幕の番号をマウスで左クリックする。


これで、1 番字幕から 6 番字幕までの左端に青い縞模様の縦棒が出現する。



3 1 から 6 までを連続再生しながら発声練習

習するにはトップボタン  をクリックするか、キーボードで T か 9 を押す

4 一つの字幕を再生しながら反復練習する

には 1 回再生ボタン  をクリックするか、キーボードで H かエンターキーを押す。

4. ③ 第 3 ステップ： 発表会

発表会では音映像をスクリーンに見せつつ行くと、とつきやすい。

初級者には再生速度を遅くして模範音声聞かせながら行っても良い。

上級者には音映像を停止し、字幕だけをヒントに提示しておき、発表者が行き詰まったときにちらりと見るだけというのも、安心感があっていいかもしれない。

